

私たちが毎日使う水。水道や下水道のサービスをずっと続けていくには、たくさんのお金「費用」がかかります。今回は、お金を管理するお財布「財政」がどうなっているのか。お財布の仕組みを一緒に見ていきましょう。

上下水道の「お財布」のしくみ

水道事業と下水道事業は、皆さんが上下水道を利用した料金を「水道料金」や「下水道使用料」としていただいています。会社（企業）のように事業を行うので、「企業会計」という特別な方法でお

金の管理をします。企業会計には、2つのお財布と1つの貯金箱があります。
 ①のお財布「収益的収支」
 ②のお財布「資本的収支」
 ③貯金箱「内部留保資金」

「お財布」から出るお金はどこへ？

《支出》

維持管理費
 水道や下水道を毎日使うようにするために必要なお金です
 ・点検、修繕、水質検査などの費用
 ・職員の人件費などが含まれます

支払利息
 借りたお金の利子を支払うお金です

「お財布」に入るお金って？

《収入》

水道料金 下水道使用料
 水道、下水道を利用した人が使用（排出）した量に応じて支払う使用料です

市からの繰入金（税金）
 公益性の高い事業や会計の赤字を補てんするために充てられます

1のお財布「収益的収支」

通常の事業活動で、1年間の使用料収入や施設の維持管理などのためのお財布です。

3 貯金箱「内部留保資金」（補てん財源）

将来、施設を整備するためのお金をためる貯金箱です

《支出》

建設改良費
 老朽化した施設の更新工事や建設などをするためのお金です
 ・工事にかかる費用
 ・職員の人件費などが含まれます

企業債償還金（借入金の返済）
 過去に借りたお金を返済します

《収入》

国からの補助金

市からの繰入金（税金）
 主に雨水処理のために借りたお金を返済する費用に充てられます

企業債（借入金）
 整備費用などのために金融機関から借ります

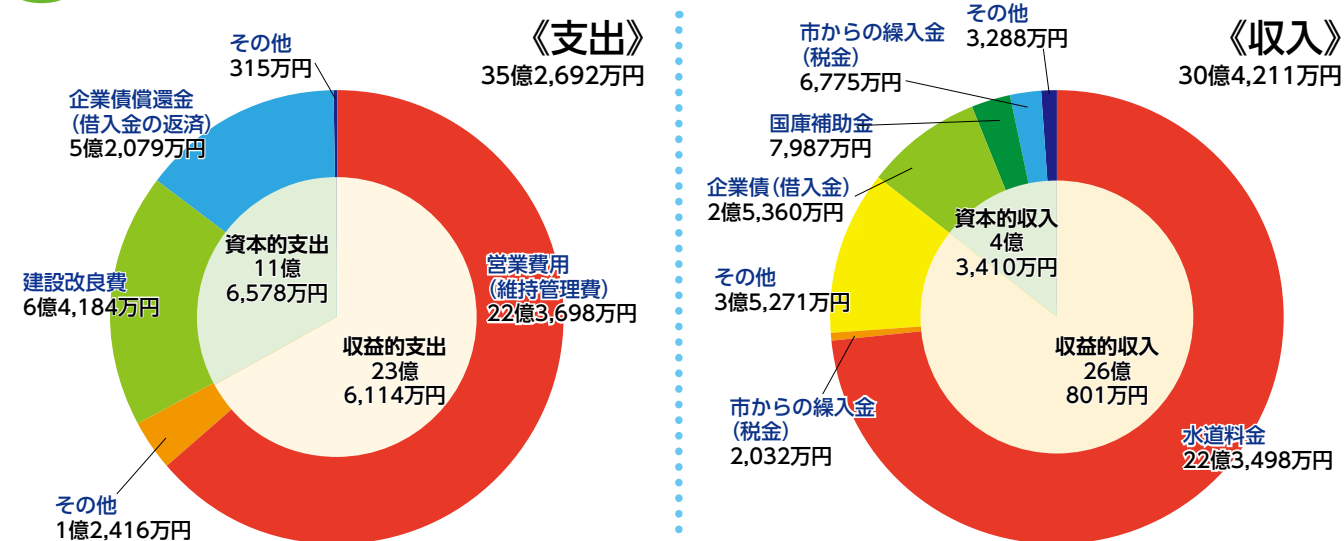
受益者負担金
 下水道の利益を受ける人が工事の一部のお金を負担します

2のお財布「資本的収支」

施設の更新や建設など、長く使う設備への投資をするためのお財布です。

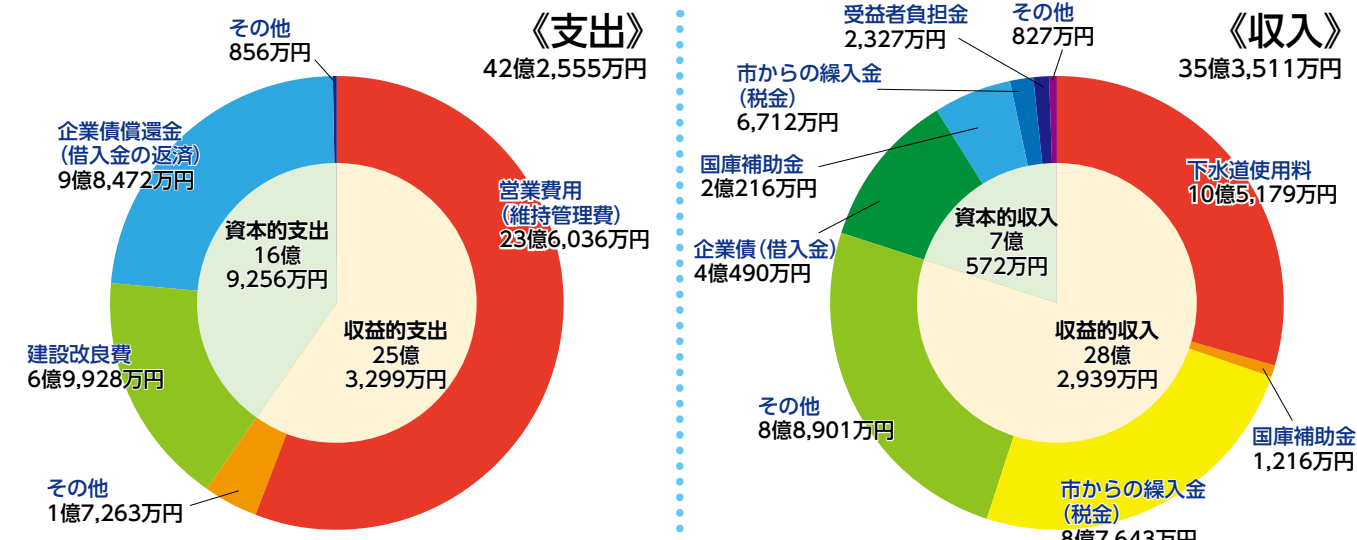
お財布をのぞいてみよう

水道事業 皆さんにきれいな水を届けるためのお財布です



令和5年度決算では水道事業の総収入は約30億4千万円で、総支出は約35億3千万円でした。不足分などを③の貯金箱から補てんして、利益として約2億4千万円を貯金しました。

下水道事業 汚水や雨水を処理するためのお財布です



令和5年度決算では下水道事業の総収入は約35億4千万円で、総支出は約42億3千万円でした。不足分などを③の貯金箱から補てんして、利益として約5千万円を貯金しました。

使用料金や税金が、市の水道と下水道を支える大切な費用として、それぞれのお財布で使われているんだね。

上下水道事業審議会委員を公募します

将来を見据えた安定的な上下水道サービスの提供を図るための調査・審議を行い、より広い視点から意見をいただくため、審議会の委員を募集します。

- ▶ 公募人数 3人
- ※応募資格など詳しくは、ホームページを確認してください。
- ▶ 申し込み先・問い合わせ 国管理課 ☎0287-37-5109



みんなで支える、これからの上下水道

古い施設や管の更新に必要な支出はこれからも増えていく見込みです。上下水道の「お財布」を大切に守り、これからも皆さんが安心して水を使えるようにするには、どうすれば一番良いか、市は上下水道事業審議会と一緒に考えています。次回は、今後の上下水道の運営をどのようにしていくのか、詳しくお伝えします。